



保育士・心理士・栄養士・作業療法士

実習 ガイドブック



社会福祉法人
美樹和会

社会福祉法人 ^{みぎわ} 美樹和会は、京都府内に保育園、児童館など7施設を運営する法人です。
当会(みぎわ)では、保育士、栄養士、看護師以外に、保育園では珍しい、**心理士、作業療法士、言語聴覚士といった専門職が働き**、多職種で連携しながら質の高い保育を追究するとともに、さまざまな子育て支援の取り組みを展開しています。
職員間の協力体制を重視するとともに、みぎわは大学との連携も重視しています。実習生の受け入れにはとくに力を入れており、保育実習(年間約10名)、心理実習(年間約70名)、栄養士実習(年間約10名)を受け入れています。

● 実習受け入れ実績

京都橘大学／龍谷大学／同志社女子大学／佛教大学／京都女子大学／京都ノートルダム女子大学 等

みぎわの 実習の考え方

みぎわの実習で何より伝えたいのは、**働くことの楽しさ**です。保育園や学童クラブでの仕事は、**誰のために、何のために働いているのかとても見えやすいのが特徴**です。みぎわでの実習はご自身なりの働く意味、そして専門性の活かし方について考えを深めるきっかけになるでしょう。

実習計画をつくる際には、学生の方が実習で学びたいポイントを事前にヒアリングしたうえで、**お一人おひとりに合った実習内容を実現します**。

そして、専属の実習担当者がつき、その日の気づきや疑問をすぐに共有できるようにしているほか、一日のスケジュールに実習簿を作成する時間を組み込んでいます。

ともに実りある、楽しい実習期間にしましょう。

お申し込みを心よりお待ちしております。

保育士実習

みぎわの実習で学べる3つのこと

- 1 発達段階に応じた保育の展開
(運動あそび、製作、音楽、模倣、集団、感触)を学べます
- 2 個別の療育的かかわりや合理的配慮を学べます
- 3 ユニバーサルデザイン保育(どんな発達段階の子どもも活動に参加できるよう、保育内容自体を工夫する保育)が学べます

実習スケジュール

※ 乳児クラスを中心としたスケジュールでも可。

- 1日目(0歳児)**
育児担当制保育を通して、保育士と子どもの愛着関係形成について学ぶ
- 2日目(1歳児)**
生活習慣の確立を目指し、保育士が生活場面でどのように声掛けをし、介助を行っているかを学ぶ
- 3日目(幼児)**
人とかかわる力や社会性を伸ばすために、異年齢保育の中でどのような工夫をしているかを学ぶ
- 4日目(幼児)**
クラス会議での議論に参加し、子どもの育ちを保育士がどのように促し、保育計画を作成しているのかを学ぶ
- 5日目(幼児)**
心理士、保育士による個別の療育的かかわりや合理的配慮について学ぶ

- 6日目(幼児)**
支援会議に参加し、多職種(保育士、心理士、栄養士、作業療法士)で行う保育の展開や要支援児へのアプローチ方法、個別支援計画の作成について学ぶ
- 7日目(幼児)**
ユニバーサルデザイン保育の考え方と展開について、実際の設定保育の実践例を通して学ぶ
- 8日目(幼児)**
部分実習の実施、部分実習を終えて教育係との振り返り
- 9日目(幼児)**
作業療法士による活動の進め方(運動あそび)や発達支援方法について学ぶ
- 10日目(選択制)**
①炭山みぎわビレッジでの自然保育を通して、自然保育のねらいや重要性について学ぶ
②保育園運営の基本的な仕組みと、保育園における経営のポイントを学ぶ

実習担当者からのメッセージ



みぎわ保育園
保育士 竹内 あかり

「保育ってたのしい!」を感じながら、 保育の専門性とチーム連携を体験しましょう!

保育実習に参加される皆様には、まずは「保育ってたのしい!」と感じられる実習期間を過ごして欲しいと願っています。これに加え、**子どもたちの「やってみたい!」という好奇心**を大切に、遊びをとおしてたくさんの経験ができるよう、職員がどのようなサポートをしているか、そこで**保育の専門性がどう活きるのか**を学んでほしいと思っています。そして、すべての子どもにとって楽しい保育園生活になるよう、保育士や心理士、栄養士がそれぞれの専門性を発揮して、**どのように連携し、学び合い、保育を展開しているか**を実体験してください。保育が保育士によってだけ行われている営みではないことを感じられるはずです。

実習をとおして「やってみたいこと」や「新しいアイデア」を見つけたときには、**どんどん挑戦してみましょう**。私たち職員が全力でサポートします!1日の終わりには子どもたちとかわってみて感じたことや挑戦してみたこと、上手いかなかったことなどを教育係と毎日振り返り、次の日の実習に活かせるようにともに考える時間を設けています。

楽しい実習があなたを待っています!ぜひご参加ください!

臨床心理士 公認心理師実習

みぎわの実習で学べる3つのこと

- 1 臨床心理学の理論や技法が、
保育現場でどのように活かされているのかを学べます
- 2 子どもの言葉の発達、運動発達、認知の発達などを
体験的に学べます
- 3 病院やクリニックとは違った
保育園ならではの多職種連携のあり方を学べます

実習スケジュール

- 1日目**
要支援児と健常児がともに過ごす保育園の生活を体験し、年齢ごとの発達の違いや同じ年齢内でも個々の発達の幅があることを学ぶ
- 2日目**
要支援児に対して、心理士や作業療法士、保育士が声掛けをはじめどのように支援を行っているかを体験する
- 3~4日目**
要支援児のアセスメント(行動観察、記録作成)を実習担当者と共に体験し、カンファレンス形式でフィードバックを体験する
- 5日目**
3~4日目の実習と振り返りで感じた気づきを意識し、要支援児のアセスメントを行う

実習担当者からの メッセージ



臨床心理士/公認心理師/保育士
藤原 朝洋

心理士に何ができるのか? 現場経験で専門性や役割を考えましょう!

美樹和会での実習に参加される皆さんには、**保育現場での多職種連携**を直に体験していただきます。将来、他の臨床現場に入っても活かすことができるような**多職種連携の基礎的な考え方や姿勢**を獲得することができると考えるからです。

保育の枠組みのなかで**心理士に何ができるのか**。発達に課題のある園児のアセスメントと保育士へのコンサルテーションもその一つでしょうし、保育内容や環境に心理的なエッセンスを加える助言をすることもそうです。ただし「**何ができるのか**」だけでなく「**どうやるのか**」も重要です。多職種が働く臨床現場で異なる職種間の合意を形成し、両者のシナジーを生み出していく。そのための工夫を実習生の皆さんに伝えるだけでなく、一緒に考える時間を大切にしています。

もちろん、保育所の基本的な役割や美樹和会独自の取り組みについても学ぶ機会を設けます。**心理士が常勤で働くことが非常に稀である保育所**だからこそ、心理士の専門性や役割とはそもそも何かを根本から見つめなおす機会となるはずです。

皆さんの参加をお待ちしています。

管理栄養士 栄養士実習

みぎわの実習で学べる3つのこと

- 1 保育園において給食の運営・管理をするために必要な専門的知識が学べます
- 2 子どもの発達・成長に合わせた給食を、保育士と連携しどのように提供しているかを学べます
- 3 保育園のなかのお惣菜屋さん「みぎわDELI」をはじめとする給食を通じた保護者支援を学べます

実習スケジュール

1～5日目の午前中
給食室での調理経験を通し、大量調理施設に必要な技術や衛生管理、栄養士同士の連携を学ぶ

1日目(午後)
発達に沿って変化していく食事形態と調理上の工夫について学ぶ
食物アレルギーをもつ園児が誤食を起こさないようにするため、どのような対策を講じているかを学ぶ

2日目(午後)
献立作成の際、どのような基準で毎月の献立を組んでいるか、また、新レシピ開発についても経験する
みぎわが独自開発した食材発注システムを使用し、予算の範囲内で適切・適量な食材を発注するための工夫を学ぶ

3日目(午後)
支援が必要な子どもについて話し合う支援会議を体験し、栄養士がどのように多職種連携を行っているか学ぶ

4日目(午後)
保護者支援の意味も込めて行っているみぎわDELIの準備・実施に携わる

5日目(午後)
実習の振り返り
学生の方が希望する特別体験(学童のおやつクラブとのコラボ、炭山みぎわビレッジでの食育体験等)を経験する

実習担当者からのメッセージ



中京みぎわ園
栄養士 山口 夏美

給食室を飛び出して、 子どもたちとのつながりを感じましょう！

みぎわでの実習では、給食室で調理経験を積むことに加え、**子どもたちとのふれあいの機会を多く設けている**ことが特徴です。保育室で子どもたちといっしょに給食を食べながら、自分が作った調理物が保育現場でどのように喫食されているか、子どもたちはどんな反応を示すかを観察することも、よりよい給食につなげるためには大切なことです。また、こうした時間を通じて、**給食室での作業が、保育現場とつながっている**ということを実感できるはずですよ。自分が作った給食やおやつを食べた子どもたちから「おいしい！」「作ってくれてありがとう！」などといった嬉しい言葉を直接かけてもらえたときのうれしさは格別です！

子育ての中で「食」に関する悩みをお持ちの保護者さんも少なくありません。そんなとき、私たち栄養士を頼っていただけるような関係づくりのきっかけになっているのが、保育園のなかのお惣菜屋さん「**みぎわDELI**」です。全国的にも珍しいこの取り組みにも実習期間中、かかわっていただきます。**アイデア次第で保育園栄養士の可能性は無限**、ということを体感してください。

実習期間が楽しく、学びの多い有意義な時間となるよう、給食室の職員がしっかりサポートします。ぜひご参加お待ちしております！

作業療法士実習

みぎわの実習で学べる3つのこと

- 1 病院実習とは異なり、子どもの「日常」に寄り添いながら、継続的な支援の在り方を学べます
- 2 作業療法士の専門性を活かし、遊びや環境調整を通じた支援を具体的な場面で体験的に学べます
- 3 保育士・心理士・栄養士と連携しながら、多職種が協働する実践的なユニバーサルデザイン保育を学べます

実習スケジュール

1日目
保育園の環境を知り、要支援児と健常児がともに過ごす場面において、作業療法の視点から支援の工夫を学ぶ

2～3日目
作業療法士としてのアセスメント(行動観察・記録作成)を実習担当者と共に体験し、フィードバックを受ける
支援会議に参加し、多職種(保育士、心理士、栄養士等)で行う保育の展開や要支援児へのアプローチ方法を学ぶ

4日目
子どもの発達や興味に合わせた遊びを実習担当者と一緒に企画し、模擬実践を行う

5日目
企画した遊びを実践し、そのフィードバックを受ける

実習担当者からの メッセージ



作業療法士／保育士
尾崎 将充

子どもの成長を支える実習体験で、 「ユニバーサルデザイン保育」を学びましょう！

病院や施設での作業療法と異なり、保育園では「**遊び**」と「**環境**」を通じた支援が中心となります。リハビリの時間に限らず、子どもたちの日常の遊びや生活の中に自然に介入し、成長を支えます。

作業療法士は、**子どもが楽しみながら発達を促せる**ように、遊びの段階づけや適応を行うことができます。自由遊びの場面では、子どもの特性に応じた段階づけをしながら個々のニーズに対応するとともに、他児との関わりやルールのある遊びを通じて**社会性の育ちを支援**します。また、設定保育の場面では、学年の特徴や発達段階に応じた遊びを保育士と一緒に企画し、学年全体の視点で子どもたちの育ちを後押しします。

子どもたちが安心して成長できるように、**動と静の環境調整を行う**ことも作業療法士の役割です。動の環境では、**楽しみながら身体の育ちを促す**ための遊具の選定やプレイルームの整備を行い、運動やバランス能力の発達を促します。静の環境では、**子どもが落ち着いて過ごせる空間を設計**し、感覚過敏のある子どもたちの安心できる場を提供します。さらに、自然を活かした環境支援では、炭山みぎわビレッジなどの自然環境を活用し、子どもたちが五感を使って心と体を育む遊びを展開します。

みぎわでは、心理士・作業療法士・栄養士が常勤で働き、保育士と協力しながら保育を行う全国的にも珍しい体制をとっています。発達の課題がある子どもだけでなく、**全ての子どもが育ちやすい環境を整える「ユニバーサルデザイン保育」**を実践しています。作業療法士の専門性を活かし、多職種連携のなかでどのようにアプローチできるか、一緒に考えましょう！

皆さんの参加をお待ちしています。